

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（ 加茂 ）中学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	国語Aは県より上回った。数学Aはやや下回っている。 国語B・数学Bは全国平均レベルになった。 数学Aは「資料の整理」「関数」をより定着させる必要がある。 国語は感想文や説明文を書くことが苦手。表現力を培う必要がある。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	問題データベースを活用し、全国学力調査問題（A問題）の課題にあった類似問題を取り上げ、朝学習又は、放課後、授業中、長期休業中等に位置づけて学年一斉の実施日を設定して取り組む	C	○朝学習など、A問題の教科の進度にあった類似問題を、各学年共に効果的に取り上げる。 ○授業など関連のある内容を効果的に取り上げる。 ○長期休業中についてはデータベースを課題等に活用していく。
①	○基礎基本の充実をさらに図る（家庭学習、朝学習、前時の想起、復習、チャレンジテスト）	B	○家庭学習の授業への連携、朝学習でのプリントによる基礎定着と復習。 ○授業での振り返りをさせる（毎時間）。 ○チャレンジテストでの反復練習で80%の正解率にする。（数学：3学期）正解率80%になるまで、放課後指導を徹底的に行う
②	○表現力・活用力・判断力を高める。 （アクティブラーニングを取り入れた授業法）	B	○各教科に応じたアクティブラーニングの導入や、グループ・班学習で話し合い活動でのコミュニケーションを高める。（3学期） ○データベースより活用型の問題を効果的に取り上げる。
③	○テストの振り返りとプリントやデータベースを利用し、学習内容の基礎の定着をはかる。	B	○テストの振り返り（テストレポート、間違い直し）提出率90%以上、復習プリントの提出率（100%）。 ○データベースを利用し、定着度の強化を図る。（3学期）

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」